



撮影・園田寛志郎

### 美しい歯 患者を笑顔に

#### 歯科医とタッグ

義歯や歯のかぶせ物や詰め物などの人工の歯、歯並びやあごの位置を矯正する器具を作るのが歯科技工士だ。右手さんは「患者を笑顔にすることができる仕事です」と語る。

右手さんは、人工の歯を作る歯科技工所「セラミックファクトリー東京」(東京・渋谷)に勤務する。歯科医院に併設された職場で、歯科医師と一っしょに患者の相談に乗りながら、一人ひとりに合わせた歯を作っている。右手さんは「大切な体の一部になる歯なので、細心の注意を払いながら作っている」と語る。

製作しているのは、セラミック素材の白い歯。医療保険の適用外なので少し高額になるが、その人の印象を壊さない、きれいな口元になるのが特徴だ。

虫歯が原因となって歯を作るほかにも、スポーツ中や事故による歯の破損で歯を作るケースもある。なかには、歯並びにコンプレックスを抱える患者のために歯を作ることもあ

る。うまく歯が入って、「めっちゃきれいです」「かみ合わせがピッタリ！」などの感想が直接聞けるのは、なによりの喜びだ。

5歳の長男の子育て中でもあり、「納得のいく仕事をしつつ、家庭での時間も確保できている」と語る右手さん。「ちゃんと食事ができるようになるだけでなく、自信を持ってニコッ、と歯を見せられるようになるのは、生活のなかでとても大切なこと。これからも多くの人を笑顔にしていきたい」と話している。

#### 右手さんの1日

- 8:30 出勤
- 8:45 朝礼
- 9:00 セラミック素材で人工歯を製作
- 13:00 患者や歯科医師と打ち合わせ  
患者の口内を撮影
- 14:00 休憩
- 15:00 患者に人工歯をかぶせる治療に立ち会う
- 16:00 パソコンを使った人工歯の製作
- 17:00 退勤
- 20:30 自宅で資料の整理

#### ●関連する業種



#### MESSAGE



- 1985年 岡山県津山市で生まれる
- 2004年 岡山県立津山商業高校卒業
- 2006年 日本歯科学院専門学校卒業  
専門学校のある大阪の歯科技工所に就職
- 2011年 結婚を機に転居した埼玉の歯科医院に勤務
- 2014年 出産のため退職したが、翌年、仕事に復帰
- 2016年 セラミックファクトリー東京に就職

#### プライベートも大事にできる

人との会話が苦手で、「自分でコツコツとできる」と考えて選んだ専門学校だった。さらに、合格後、歯科技工士はワーク・ライフ・バランスに優れた職業だとも感じた。高校時代は野球部のマネージャー。たびたび練習を見に来ていた部員の父親が歯科技工士だと知り、「プライベートの時間が確保でき、好きな野球観戦もしやすいはず」と喜んだ。

仕事を続けていると、「美しい人工の歯を作りたい」という思いが強くなっていった。優れた歯科技工士が生み出す歯は、まるで芸術作品で、ほれほれするという。そんな技術者に近づきたいと願う右手さん。「夢になって仕事に打ち込んでほしい」と話す。

#### 歯科技工士になるには

専門学校などの歯科技工士の養成校に通い、国家試験に合格すると資格が得られる。ただ歯科の世界は、最新の設備や機材がどんどん導入されているので、就職してからも日々の勉強は欠かせない。

#### 安心

患者を歯の痛みから解放し、食べる喜びや笑顔を与えられる仕事。患者に充実した日々を過ごしてもらえよう、専門書を読むなどして最新技術を学ぶことが大切。



#### 職人技

口の中は、髪の毛一本でも違和感を感じる敏感なところなので、人工歯は精密に作らなければならない。また、色や形も患者一人ひとりに合うようにデザインする。



#### 世界

日本の歯科技工の技術はレベルが高い。その技術は世界中で重宝されており、海外から注文が入ることも。世界各地で活躍する歯科技工士もいる。



#### 深く知りたい人へ

#### 映画「笑顔の向こうに」

今年公開された映画「笑顔の向こうに」がオススメ。主人公のイケメン若手歯科技工士が悩みながらも、成長していく様子を描いている。歯科医師や歯科衛生士、患者との関わり、仕事のやりがいなどが分かるストーリーになっている。DVDにもなっているので、チェックしやすい。

#### マストアイテム

#### 記録用の一眼レフ

人工の歯と、ほかの歯の区別がつかないように仕上げるには、同じような歯の色にする必要がある。そのため、一眼レフカメラで口の中を細かいところまで撮影して、記録することが大切。画像を見ながら人工歯を製作している。

